

# 保冷輸送を強化

医薬品  
など 1個からパレットまで 第一貨物

第一貨物(武藤幸規社長、山形市)は医薬品の取り扱いを中心とした保冷輸送サービスを強化する。保冷ボックスと蓄冷材を活用し、

通常の「特積み便」に混載することで効率化を図るとともに、安定した輸送サービスを提供していく。

保冷ボックスは1個口の商品に対応する小型タイプから、ロット輸送に適したパレットサイズ(1100×1100<sup>ミ</sup>)まで用意。温度管理は①医薬品の適正流通基準(GDP)であるセ氏2〜8度②冷凍輸送のマイナス20〜零度③冷蔵輸送の零度〜セ氏10度——の3区分で対応する。

中でもパレットサイズの保冷ボックスは複数アイテムの商品を積み合わせることもが可能で、伝票作成や荷札の貼り付けなど作業時間を短縮できる。また、商品を預かった後、翌々日の輸送にも対応することで、長時間・長距離輸送の需要も取り込んでいく。